



走り走愛

(そうしそうあい)

「やる気」
「勇 気」
「元 気」

令和8年度 No.15
令和8年8月31日
【文責】小林信一

2学期が始まりました

7月28日16時27分に発生した熊本地方を震源とするM7.1、最大震度7(宇土市震度6強)の「令和8年熊本地震」で被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

夏休みに入って10日目の夕方に発生した地震は走潟地区にも大きなダメージを与えましたが、その後、たくさんの人たちの支えにより復旧してきました。走潟小学校は地域の避難所として地震発生当日から8月11日まで体育館ミーティングルームを開放、給水所として生活用水に防災井戸を活用されていました。また、避難所運営や給水には他県の自治体職員が応援に来て下さり、人の世の温かさを感じたところです。

まだまだ地震により元通りの生活を送ることが難しい方もいらっしゃると思います。学校として出来ることに取り組んで参りますので、何かあるときはお気軽にご相談下さい。

さあ今日から2学期が始まります。2学期は社会科見学旅行、運動会、稲刈り、餅つき、持久走大会など学校行事が目白押しです。合い言葉の「やる気」「勇気」「元気」を常に意識して「チーム走潟小」として一つずつみんなの手で新しい伝統を積み重ねていきましょう。



8月4日の学校田。しっかり稲は育っていました。

【校長室から】⑤「有明旋風を支えた人たち」

今年の夏、被災地熊本に明るいニュースとなった高校野球の「有明旋風」。全国高校野球大会、いわゆる夏の甲子園に熊本県代表として出場した有明高校が1回戦、2回戦、3回戦全て逆転勝ちでベスト8に進出し、その姿は熊本県民に大きな希望と元気を届けてくれました。私もその元気を受け取った一人です。

有明高校は私が生まれた荒尾市民病院(現在は荒尾市立有明医療センター)のすぐそばにある学校なのです。夏の甲子園に初出場だけでも凄いことなのに、その快進撃は有明高校を知らなかった人たちまでファンにしてみました。

連日、テレビでは「有明旋風」という言葉が出ていましたが、これを支えた吹奏楽団、元は4人の吹奏楽部からスタートしたのです。4人では十分な演奏が出来ないと言うことで、急遽OBや地元の人などが集まり、吹奏楽団を結成。そして試合の度に0拍2日の弾丸スケジュールで応援に行かれたそうです。その支えもあってあの「有明旋風」は快進撃を続けたのです。

甲子園から帰ってきた選手たちがまず口にした言葉は自分たちをサポートしてくれた人たちへの「感謝」でした。見ている私たちもすがすがしい気持ちになるその感謝の言葉はきっと「有明旋風」を支えてくれた人たちにも届いたことでしょう。

カヌー体験お世話になりました



上手に乗れていました

7月28日グリーンはな走会のご指導の下、5・6年生の希望者がカヌーを体験しました。いい経験になったようです。お世話になりました。